

アルミニウム製品、伸銅品、非鉄金属スクラップは日々の生活向上や産業の進歩に大きな役割を担っている。コロナ禍で大きな影響が続いている中、関西地区でのアルミニウム製品流通、伸銅品問屋組合会長(久野産業社長)、橋本健一郎(橋本アルミ取締役)の取組みについて話を聞いた。



橋本 健一郎理事長(橋本アルミ取締役)

ワクチン普及で実需増、相場高騰も

とんでもない好景気到来の可能性

—まず、2020年の回り込まれた一年だった。コロナ禍はいま現状進行形。日本国内でも感染蔓延が増加。初はLME銅相場の千円、電銅建値10万円で始まった。月はLME6500ドル、銅建値64万円近辺まで上昇した。その後、6月頃には感染封じ込めにより中国景気の回復なしを受け、LME銅は8千ドルを突破。銅建値は87万円近辺まで上昇し、回復した。世界的にコロナ第3波が到来しているが、米国では需給のひっ迫、価格の上昇は継続。スクランブルが始まっており、その期待が大きくなるだろう。—今年の展望を。

「世界景気の回復期待やコロナ禍下でも自動車販売が伸びる中、消費に向かう。少し楽観的視

—「一言いえば、コロナに傾向あり予断を許さない。」竹内成介(大阪伸銅協会会長)は、2021年のアルミニウム製品流通、伸銅品問屋組合会長(久野産業社長)、橋本健一郎(橋本アルミ取締役)の取組みについて話を聞いた。

—「これまで、これがもたらす活動をさらに活性化させたい。一方、昨年の協議の活動は、コロナ禍で各項までは難しいだろう。今回、改めて非鉄金属流通や組合での交流の必要性、重要性が再確認された。

関西非鉄リサイクル協同組合



久野 実理事長(久野産業社長)

A-I-O-Tなど需要増見込む

顧客へ円滑に製品を提供

大阪伸銅品問屋組合



久野 実理事長(久野産業社長)



新技術、高付加価値化の流れ進む アルミニメークーと顧客の橋渡し役に

竹内 成介会長(三和金属代表取締役会長)

大阪軽金属商協会

—まず、2020年のアルミニウムの回顧から新型コロナウイルス感染拡大の影響に振り回されたように思いますが、このコロナ禍が、大阪軽金属商協会会員(会員数54社)の動きに大きな影響があった。たゞ、

も思いますが、

コロナウイルス感染拡大の影響を頂戴するところからスター

トした。それがコロナ禍で大きく変わっている。概々に顧客との面談や業務改善の大変な契約などが動き出した。たゞ、

増加傾向にあるなど、予断を

も許さない状況だ

—日本アルミニウム協会の需要先を除き、堅調な販売で

まとめによる、20年上期

需要が低迷した。1~6月出荷量では2年連続で自安の半期100万トン届かなかつた。リーマンショック後の90年記録した79万トン以来の84万トントリ一もれとなつた

今後も物件需要があるとも聞

か

—協会の活動状況は?

—各地区代表者により、メ

トワークの推進など、働き方

やメールによる面談、リモー

トワークの変化など、働き方

やメールによる面談、リモー